



**<重要拠点機能>**

- ・行政、物流、病院、避難所等、事前に拠点を明確化 (代替拠点は準備OKか?)
- ・各機関、企業作成のBCPの重要拠点 (代替) の情報共有
- ・データのバックアップが重要
- ・非常用電源の確保 ・箱物が被災時に全国的な対応
- ・各々の重要拠点がBCPを作成し、DCPにリンクさせる
- ・オートマテックに各組織が動けるような事前対策



**<物流アクセス機能>**

- ・臨時ヘリポートや拠点同士を結ぶ道路の位置付け確認
- ・通行車両の統制⇒物資の在庫管理・輸送手段選定
- ・業界団体との協定で事前に段階毎の役割分担をする
- ・被災情報の早期収集による使用道路の選択
- ・物流を物資の保管も含めパッケージ化して検討
- ・早期復旧の為に建設業者と事前計画 (復旧範囲等)
- ・高松空港へのアクセス、土砂災害等確認 空⇒陸⇒海

**<応援・受援機能>**

- ・香川、愛媛が高知、徳島を後方支援⇒支援体制構築 (四国勤務経験者は高知・徳島へ他県の方は香川へ)
- ・応援、支援計画の策定と事前訓練 (ボランティアコーディネーターの養成、宿泊場所、寝具等の用意)
- ・何 (人・物) が不足かを吸い上げ、調整する人が必要
- ・平時より各々の組織が、顔の見える関係を構築
- ・南海トラフでは県外からの人や支援が期待出来ない

すべてはつながっている

**<ライフライン機能>**

- ・災害復旧拠点の分散化、事前対策
- ・緊急車両や業者車両への許可証発行の仕組み作り
- ・ライフライン事業者が孤立化解消に努める
- ・公的機関、顧客、病院等の優先順位の検討
- ・全般的に予備手段を保持する
- ・対策本部と連携し重要施設を中心に調整しながら復旧
- ・携帯用の小型電源車 (ヒザ宅配位) が多数あるといい

**<ヘッドクォーター機能>**

- ・香川に現地災害対策本部設置、地域防災計画で動く
- ・四国地整、香川県の役割確認や指揮命令系統の確立
- ・リエゾン派遣 ・事前ルール確認により二重行政を防止
- ・緊急物資輸送訓練の実施⇒検証、問題点洗い出し
- ・国の対策本部 (サンポート) や県庁機能が失われた想定
- ・各団体、業者の通信手段の洗い出し
- ・判定士 (建築)、応急判定士、余震対応出来る人必要